

## ～ごあいさつ～

新年明けましておめでとうございます

昨年 4 月に開設 2 年目に入り、少し運営が充実してきましたが、まだシンフォニアは成長過程にあります。昨年の暮れには、たくさんのご利用者家族の皆さんにも御参加いただき、第 2 回のクリスマスディナーを、バイオリン、チェロ、ピアノのコンサートを取り入れた企画で、楽しんでいただきました。利用者の方々の食形態などを配慮しながら、食事や飲み物を手際よく、配膳できるように席の配置に工夫をしてみました。見て、味わって、おいしく、ゴージャスなディナーに年々進化させたいと思います。そしてこの経験が、毎日の食事にも生かせることが課題です。食べられなくなることが「老い」でもあるのですが、それを工夫して、「栄養と食べることの楽しみ」のレベルを上げることを目指します。それが大変な思いをしながらも自前の厨房を運営する理由なのですから。

またイベントは、ユニットという狭い空間の生活から、心も体もその活動範囲を拡げる意味でとても大切であると考えています。自室と食事の共有スペース、浴室、トイレだけに行動範囲に狭めないことが、ユニットケアの一貫した課題です。

介護保険で決められた人員配置でご利用者様の求める内容のすべてを賄うには、ホテルサービスと違って難しいこともあります。そのため、ご利用者の皆様・ご家族の皆様にもご協力をいただき、動けるところは動き、待つ必要があるときは、お待ちいただくことをお願いすることもあるかと思えます。

介護サービスとホテルサービスの違いは、介護保険で行っている以上、介護保険の制約を受けております。ホテルサービスでは利用者様のニーズに徹底して応えることもできますが、介護保険によるサービスは利用者様以外の全被保険者のお金を利用させて貰っており、かつ予算的制約の中での提供、かつリハビリ的な要素も求められるサービスであることもご理解いただきたく存じます。また特別養護老人ホームでの施設サービスは「お互いさま」の精神で支えあい、譲り合って生活されることで、いい雰囲気の共同生活になるものと考えています。

世の中が厳しく世知辛くなったからこそ、家族のような雰囲気をつくることは、とても大切であると当法人では考えております。同じ法人内に保育園ひよこハウス豊田、ひよこハウス多摩平があり、そこ子どもたちが訪ねてくると、利用者の皆さんの笑顔を見られ、心が和みます。そこで、今年も四季折々に、昔からの「祭り」の要素を持つイベントを多彩に取り組みたいと思います。

子どもたちは、体を動かし、五感をしっかり使って生活することで成長します。利用者の皆さんも子どもたちとふれあい、レクリエーションやリハビリを大切にして、老いの進行を止め、張りのある生活を送っていただきたいのです。

今年もシンフォニアが、利用者の皆さん、職員、それぞれに「納得の人生」になる空間として日々成長することが夢です。本年も利用者ご家族の皆様のご理解、御協力を宜しくお願い申し上げます。

## ～イベント紹介～



お正月の素敵な飾りは手作りのものです。



今年も松永先生に詩吟をご披露頂きました。皆様も一緒に吟じていました。



理事長のご挨拶があり、施設長の乾杯にて新年会がスタート！

2014年1月1日

## 新年会



職員による獅子舞では、無病息災で過ごせるよう利用者の皆様ひとりひとりのお席を回り、頭をかみました。かまれた利用者様はとても嬉しそうにされているのが印象的でした。



2014. 1. 7

## 『ひよこハウス 獅子舞ユニット訪問』

ひよこハウス豊田・多摩平合同でシンフォニアに来ていただきました。

手作りのかわいらしい獅子舞でユニットを訪問しました。いつも静かなユニット内も園児の獅子舞で利用者の皆様の笑い声が聞かれました。

今年も一年皆様の笑顔が増えるようなイベントをたくさん開催できればと思います。